

もっと地球に もっと緑を

会社案内

CORPORATE PROFILE

トヨタ緑産株式会社

トヨタ緑産株式会社は、「もっと地球に もっと緑を」を合言葉に
さまざまな緑化事業を展開しています。
地球レベルでの環境保全が世界の共通課題となった今、
「緑を育て、緑と生きる 地球の緑を未来まで」をスローガンに
公共施設から企業、店舗、一般住宅に至るまで、
緑のトータルプランナーとして
総合的な環境マネジメント活動に取り組んでいます。



静岡スタジアム エコバ



芝刈り



ゼブラ模様の芝

芝生への深い愛情と厳しい眼差しが ベストなピッチコンディションを保ちます

GRAND GREENING BUSINESS

グランド緑化事業

当社は、豊富な知識と技術力を活かし、各地のスタジアム、ゴルフ場、サッカー場、競技場の芝生における設計、施工管理に多くの実績を残してきました。芝生の育成と品質管理に妥協しない姿勢は、大勢の方々から高い評価を受けています。

天候によって日々変わる芝生は“生き物”です。その声なき声に耳を傾け、会話し、経験豊富なスタッフが競技に合ったメンテナンスをきめ細かく科学的なデータに基づき実行し、ベストなピッチコンディションに整えます。

2002年のサッカーW杯、2019年のラグビーW杯の会場となったエコバスタジアムは、天然芝と人工芝を混ぜたハイブリッド芝が流行する中、天然の芝だけを使い、その仕上がりの精度は協会本部やプロのアスリートからも称賛されました。

設計及び 施工管理実績

- 静岡スタジアム エコバ
 - 竜洋スポーツ公園
 - 藤枝総合運動公園
 - ヤマハ豊岡球場
 - 園庭緑化
- など



試合後の砂入れをするスタッフ



企業緑地

美しい花や緑豊かな木々に満ちた企業や工場、店舗には、人が集まり、生き生きとしたコミュニケーションが生まれます。植物はリラックス効果が高く、ストレスの軽減、従業員の満足と生産性の向上に貢献します。

工場敷地環境の緑化

社会と人々の暮らしに息づく 緑豊かな自然環境をつくります

ENVIRONMENTAL GREENING BUSINESS

環境緑化事業

鮮やかな緑の景色に隠されたプロフェッショナルの仕事。当社は、緑地の設計、施工管理、メンテナンスや森林リサイクルなどを通じて、人と緑が調和した全てにやさしい環境づくりを進めています。



住宅緑化

家と庭がそろってはじめて「家庭」と言われるよう、庭は住まいにとって大事な存在です。戸建住宅からマンションまで、建物の外観、街並みにしっかりと馴染むような植栽を創造し、演出します。



袋井市田原緑地

グリーンバンク事業



環境保全

公益財団法人「静岡県グリーンバンク」の事業として、県内の幼稚園等に芝生のポット苗を植える園庭緑化を推進しています。また、ボランティアで袋井の街に花と緑を植えるプロジェクトにも協力しています。また地域の美化清掃も実施しています。(ISO14000)



袋井市ボランティア

公共緑化

市や県からの委託を受けて、県西部地域の公園や駅前の花壇・街路樹等の工事施工及び管理をしています。街のオアシスとして、人々にやすらぎと潤いをもたらす各種の樹木や色とりどりの花々を選定し、デザイン育成管理をします。



袋井駅花だん



愛野駅花だん



竜洋海洋公園



伐採した樹林などを破碎処理し
法面のマルチングや
堆肥化等のリサイクルにも
取り組んでいます

FOREST RECYCLING BUSINESS

森林リサイクル事業

これまでの現場破碎で培ってきた経験、ノウハウを活かし、
間伐材などを「バイオマス発電」の燃料として供給していく
可能性を見据えています。これにより、木材資源の有効利用が
一段と進み、人と自然が調和したやさしい環境づくりに貢献する
ことができると期待しています。



オリジナルの農産物を開発し
新たな農業のビジネスモデルを構築

AGRICULTURAL BUSINESS

農産事業

豊田肥料株式会社様と連携し、メロンやコシヒカリなど農産物の生産、加工、販売を行って
います。メロンは糖度15度以上で、温暖な気候に恵まれた袋井市ならではのコクのある
甘みが特徴。今後は農業生産法人化も視野に入れながら、高品質で販売力のある農産物の
流通を確立するなど、地域に根ざした新たな農業のビジネスモデルの創造を目指します。



会社案内 COMPANY INFORMATION

方針

- 1 緑化事業、リサイクル事業に係わる環境影響を認識し、経済的・技術的に可能な範囲で環境目的・目標を定め、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメントの継続的改善をはかる
- 2 環境関連法規及び当社が同意したその他の要求事項を順守するとともに、正義維持管理を行う
- 3 事業活動が与える環境影響の中で、次の項目を重点に環境マネジメント活動定期的にレビューを実施する
 - 1.環境緑化の推進
 - 2.芝地管理の向上
 - 3.樹木管理の向上
 - 4.農薬使用量の削減
 - 5.環境関連商品の販売
 - 6.省エネ(電気・燃料)、省資源(紙等)を推進
- 4 社員一人ひとり及び当社のために働く全ての人が、環境に対する意識と知識環境活動の重要性を自覚して全員で取り組む
- 5 周辺美化運動等により地域環境保全活動に積極的に取り組み、住民とのコミュニケーションを大切にする

概要

会社名称	トヨタ緑産株式会社
所在地	〒437-0011 静岡県袋井市村松19番地の6
代表取締役社長	阿隅謙二
TEL	0538-44-0400
FAX	0538-44-0484
設立	1994年6月1日
資本金	1,000万円
従業員数	14名
事業内容	造園及び緑化施設の設計・施工・管理／植物病害虫防除業務／木材破碎機によるチップ化及び堆肥製造／産業廃棄物収集・運搬／造園緑化資材及び農業用資材の販売／農産物生産・加工・販売／土木工事
主要仕入先	袋井市役所／袋井市森町広域行政組合／静岡県グリーンバンク／株式会社大林組／大林道路株式会社／株式会社東急コミュニティ／静岡県サッカーリーグ／ヤマハ株式会社／株式会社ヤマハリゾート／株式会社特種東海フォレスト／株式会社人材計画研究所／ピアス株式会社／ネオファーマジャパン株式会社／NSKワーナー株式会社
主要取引先	豊田肥料株式会社／株式会社イシダグリーン／株式会社浜松山福／第一商事株式会社
取引銀行	静岡銀行／浜松磐田信用金庫／商工組合中央金庫
関連会社	豊田有機株式会社／袋井設備株式会社／袋井ガス株式会社／中遠運輸株式会社
許認可	一般建設業・静岡県知事許可(般-27)第28131号(造園工事業・土木工事業・とび・土工事業)
資格及び資格者数	1級造園施工管理技士 2名 / 2級造園施工管理技士 6名 / 2級土木施工管理技士 1名
加盟団体	社団法人 静岡県造園緑化協会／静岡県森林環境整備協会／袋井緑地維持管理協同組合／日本芝草学会／NPO グラウンドキーパーズ

沿革

1994年 6月	トヨタ緑産株式会社 設立 (資本金1,000万円 代表取締役社長 豊田富士雄)
1994年 6月	ヤマハスタジアム(ジュビロ)芝管理業務受託(1994年~2007年)
1995年 11月	建設業許可 造園業・とび・土工業 取得
1996年 8月	森林リサイクル事業を展開 FHE社 P-12HP 木質系破碎機導入
2000年	静岡スタジアム(エコパ)競技場ピッチ施工(下請)、翌年から芝管理業務
2001年 1月	代表取締役社長 阿隅謙二 就任
2002年 2月	ISO14001認証 取得
2004年 8月	袋井市村松19番6号に事業所移転 木質系破碎機 TG-400ATX 導入
2010年 10月	農産事業参入 カボチャ・ショウガ 生産開始
2019年	農産事業 メロン 栽培開始 農業資格
2020年	農産事業 米(コシヒカリ) 稲作開始

ACCESS MAP



〒437-0011 静岡県袋井市村松19-6



静岡県知事許可(般-27)第28131号
造園工事業・土木工事業

トヨタ緑産株式会社

TEL.0538-44-0400

FAX.0538-44-0484

(平日 8:00~17:00)

HPは右記のQRコードを読み取るか

トヨタ緑産株式会社 で検索できます

